



この事業は共同募金の助成事業です。

平成30年度傾聴ボランティア フォローアップ研修 開催要項

1. 目的

本県では、少子高齢化、核家族化の進行及び単身世帯が増加しています。また、住民同士の人間関係の希薄化により地域からの孤立が問題となっています。このような課題を解決するためには、小地域での住民同士の支え合い活動が重要となり、生きるエネルギーを高める傾聴ボランティアのニーズが高まっています。傾聴ボランティアとは、「話し相手がいない」「ひとりぼっちで寂しい」「悩みを抱えている」「不安で誰かに話を聞いてもらいたい」…そのような方の気持ちに、相手の身になってありのままに受け止めて”聴く”お話し相手ボランティアです。本研修は、『傾聴ボランティア』の活動者に対し、技術の向上を図ることを目的に実施します。

2. 主催

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会

3. 対象

本会主催の「傾聴ボランティア養成研修」を受講された方。

現在、傾聴ボランティア活動をしている方。

※定員60名(定員になり次第締め切らせていただきます)

※原則2日間連続で参加できる方を優先させていただきます。

4. 日程・会場

平成30年11月6日(火)、7日(水)[2日間連続]

琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」4階研修室(鳥取県東伯郡琴浦町徳万 266-5)

5. 内容

日程	研修 No.	形式	時間帯	内容
第1日 (11月6日)	①	ワーク ショップ	9:30～ 12:00	○実際の活動上の疑問・困り事Q&A ・提出済みの質問について考える(答える) ・その他、自由に質疑応答
			12:00～13:00	休憩(昼食は各自でご用意ください)
	②	グループ ワーク & 講義	13:00～ 14:30	○傾聴の基本(復習) ・傾聴するとは(復習) ・傾聴の際の大事な言葉(復習) ・傾聴ボランティアとは(再確認)
	③	ロールプレイ 実習	14:30～ 16:30	○傾聴のスキルを使っての対話訓練① ・Q&Aの実際事例に基づき、ロールプレイ実習

第 2 日 目 (11 月 7 日)	④	ロールプレイ 実習	9:30～ 11:30	○傾聴のスキルを使つての対話訓練② ・(個人宅)よくあるケースについてロールプレイ実習 ・(施設)よくあるケースについてロールプレイ実習
	11:30～12:30		休憩(昼食は各自でご用意ください)	
	⑤	講義 & ロールプレイ 実習	12:30～ 14:30	○傾聴のスキルを使つての対話訓練③ ・認知症高齢者への関わり方の基本(復習) ・認知症のケース毎の関わり方(講義) ・認知症高齢者の関わり方ロールプレイ実習
⑥	グループ ワーク	14:30～ 16:30	○ふり返り ・改めて、何に気づいたのか、グループ毎に分かち合い ・自分ができてないことは何か、グループ毎に分かち合い	

講師：特定非営利活動法人ホールファミリーケア協会 事務局長 山田豊吉氏

平成11年、高齢者とその家族のための心のケアをおこなう福祉団体「NPO 法人ホールファミリーケア協会」を設立。日本で初めて、アメリカより「シニア・ピア・カウンセリング」を導入。その理念を大切にしながら、養成講座を開催すると同時に、高齢社会における新たな相互扶助活動である「(高齢者のための)傾聴ボランティア」活動の全国普及を目指して運動を展開中。

同時に、人との関わり方の基本である「傾聴的に関わる・聴く」活動の普及を目指し、運動を展開中。



6. 参加費(当日受付にてお支払いください。)

①～⑥フォローアップ研修：2,000円(①～③、④～⑥のみの参加は各1,000円)

7. 申込方法

別紙「申込書」に必要事項を記入の上、平成30年10月15日(月)までにFAXまたはメールにて申込先にお申し込みください。開催要項、申込書は本会ホームページからダウンロードできます。

8. 個人情報の取り扱いについて

本書に記載された個人情報は、受付に使用する名簿の作成、不具合・不測の事態があった際等の連絡に使用し、その他の目的で使用することはありません。事前質問は事務局で取りまとめ、当日の資料とさせていただきますのでご了承ください。

【問合せ・申込先】

鳥取県社会福祉協議会 福祉人材部(担当 秋本、桑村)

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 鳥取県立福祉人材研修センター内

TEL: (0857)59-6336 FAX: (0857)59-6341

URL: <http://www.tottori-wel.or.jp> E-Mail: vc@tottori-wel.or.jp